

2015年3月20日 個人投資家向け説明会

主な質疑応答

Q. 株主総会の開催地について

- A. 当社は大阪本社、東京本社の2本社制を取っております。大阪本社は管理部門中心の本社機能を有しており、東京本社は採用・営業等、業務推進中心の本社機能を有しております。株主総会は、これまで、管理部門の本社機能を有する大阪本社の付近で開催させていただいております。来年以降、東京での株主総会開催についても検討していく予定であります。なお、本店所在地は兵庫県の尼崎市でございます。

Q. EA制度による技術者数減少の影響について

- A. 当社の増員要素の大半は4月に入社する新卒者であります。したがって4月1日が在籍数のピークとなります。そのため、毎月、退職者数を上回るキャリア採用数がなければ減少していく一方となります。2015年1月度の離職率は約10%となり、その内訳は、約1%が定年退職者、約2%がEAサービスを活用しての転職であります。通常の退職は約7%となっております。今後はこの約7%の自主的退職者の原因を分析し、採用条件の再設定、あるいは業務的なケアを向上させ、約7%の離職率を低減させていきたいと考えております。

Q. ソフトウェア分野の状況について

- A. 当社では組み込みソフトと情報処理の2つにセグメントしており、組み込みソフトの技術者を主としております。現在、様々なお客様から組み込みソフトの技術者の要請をいただいております。今後は組み込みソフトの技術者の確保が重要な課題になると考えております。

Q. ケミカル・バイオへの参入について

- A. ケミカル・バイオに代表される基礎研究分野の参入につきましては、現在模索中であり、すでに取り組んでいる同業他社もございますが当社では情報収集を行っている段階でございます。今後判断したいと考えております。

Q. 特許を含め技術力を持つ技術者が EA 制度を利用して転職することについて

A. 育成した技術者は当社の資産であると考えております。しかし、経営理念でもある「エンジニアサポートカンパニー」という立場から、取引先でもあるメーカー等の企業への転職を EA 事業本部という仕組みでサポートしております。この仕組みの PR 効果により、今まで採用実績の少なかつた難関校の学生を採用することができております。

彼らが当社に在籍している期間、当社の質を高め、当社の信頼性を高め、顧客満足を高めることが当社にとっては、非常に有利に働きます。将来、その方々の転職希望を実現していきたいと思っております。

また、当社を卒業した技術者が、当社の取引先に在籍することにより、営業面でもプラスに働くことが期待できます。目の前の資産を失うことは惜しいですが、長い目で見た時にアルトナーの利益に繋がると考えております。

Q. エネルギー関連の案件について

A. 太陽光発電の他、住宅設備の電力変換装置等のプロジェクトに参画させていただいております。また水素自動車に関するプロジェクトにも、多くの技術者が参画しております。

Q. 風力発電への参画について

A. 当社の電気・電子設計開発分野におきましては、インフラに強い総合電機メーカーとの取引の拡大を重要な課題としております。今後、火力・風力電気設備等インフラに関するプロジェクトに参画していくこともあるかと思っております。

以上